

【令和4年度 七林中学校 学校評価について】

学校評価は、「教育水準の維持・向上」「学校運営の改善」「評価の説明と協力依頼」を目的として行っています。

評価を考察しますと、概ねA・Bの肯定的な評価の割合が多くを占めておりますが、「授業の理解度」「家庭学習への取り組み」「健康管理」「学校への相談」などに改善すべき課題があると考えます。他の項目に関しても、甘んじることなく、さらにAの割合が高まるよう尽力してまいります。また、ここには掲載しておりませんが、記述による数多くのご意見やご要望もいただきました。各学年・教科・校務担当ごとに、ご意見・ご要望を真摯に受け止め、それぞれ検討・協議する機会を設けてまいります。その上で、「実行できること」「変えていけること」「理解していただくこと」など精査して、今後の学校運営に生かしてまいります。

多様性や寛容性の時代への変容、コロナ禍や自然災害等の想定外の日常の中にあって、学校は今までの経験や常識だけにとらわれることなく、様々な工夫と状況に応じた対応を考えていかなければなりません。しかし、その考えの中心は「生徒の安全・安心」「生徒の成長のため」ということに変わりはありません。

引き続き、保護者の皆様、そして地域の皆様のご理解とご支援を賜りながら、信頼される学校づくりを推進してまいります。よろしくお願いたします。

なお、評価の合計は「未回答」「わからない」を掲載していないため、100%にはなりません。

【生徒調査】

A：あてはまる B：だいたいあてはまる
C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	評 価 内 容	評 価 (%)			
		A	B	C	D
1	あなたは、進んであいさつをしている。	40.3	54.1	3.9	0.7
2	あなたは、基本的な生活習慣が身についている。	23.7	60.8	11.3	2.1
3	あなたは、学校が楽しい。	47.7	40.3	6.5	3.0
4	あなたは、授業の内容を理解できる。	20.5	60.4	15.4	3.0
5	あなたは、家庭学習をしている。	27.2	49.1	15.2	8.1
6	あなたは、期日を守って提出物を出している。	41.2	40.6	13.4	4.4
7	あなたは、部活動や習い事に一生懸命取り組んでいる。	58.5	27.0	5.3	3.2
8	あなたは、自分の健康に気を配って生活している。	30.9	48.8	14.7	3.9
9	あなたは、ルールを守ったり、マナーを心がけたりして生活している。	56.0	39.6	3.0	0.5
10	学校は、学力を高めようとしている。	43.5	42.9	3.9	1.6
11	学校は、生徒の悩みや困りごとに適切に対応している。	29.0	41.9	10.4	3.9
12	あなたは、困ったときに相談できる先生がいる。	28.8	34.8	14.3	10.6
13	学校は、アンケート調査を実施するなど、いじめの早期発見・対応に努めている。	43.8	39.6	5.8	1.8
14	授業では、話し合い活動をよく行っている。	55.8	38.5	3.7	0.2
15	授業では、その時間の「めあて」が提示される。	68.0	29.0	1.4	0.2
16	七林中は、行事が盛り上がる。	73.3	21.9	1.8	0.5
17	七林中は、勉強や運動しやすい環境が整っている。	43.8	44.5	6.7	1.6
18	七林中には、自慢できること（もの）がある。	30.9	35.3	12.4	8.1
19	あなたは、Chromebookをよく活用することができた。	49.5	39.6	5.8	0.9
20	学校は、Chromebookをよく活用している。	47.5	40.3	3.5	1.8

【保護者調査】

A：あてはまる B：だいたいあてはまる
C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	評 価 内 容	評 価 (%)			
		A	B	C	D
1	お子様は、進んであいさつをしている。	20.8	61.8	11.6	2.3
2	お子様は、基本的な生活習慣が身についている。	38.4	53.5	6.4	1.7
3	お子様は、学校が楽しいと言っている。	27.7	56.9	11.0	2.0
4	お子様は、授業がわかりやすいと言っている。	5.2	58.4	22.3	6.6
5	お子様は、家庭学習をしている。	16.8	52.0	21.1	9.2
6	お子様は、期日を守って提出物を出している。	32.4	43.4	12.1	5.8
7	お子様は、部活動や習い事に一生懸命取り組んでいる。	50.0	40.5	2.9	4.3
8	お子様は、病気・けが予防や栄養摂取に対する意識が高い。	14.2	51.2	28.0	4.9
9	学校は、学力を高めようとしている。	17.1	63.3	9.2	2.3
10	学校は、社会のルールやマナーを身につけさせようとしている。	21.4	67.6	4.0	1.2

11	学校は、生徒の悩み事や困りごとに適切に対応している。	16.2	54.0	9.8	2.6
12	学校は、保護者にとって悩みや困ったことを相談しやすい。	14.5	51.2	16.2	4.3
13	学校は、スクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。	12.1	53.5	7.5	1.7
14	学校は、保護者や地域への情報提供を積極的に行っている。	18.2	62.1	5.2	1.4
15	地域・保護者における子供の見守りが充実している。	15.6	56.9	9.0	1.2
16	学校は、いじめや問題行動に的確に対応している。	9.8	47.1	8.4	1.7
17	学校は、アンケート調査を実施するなど、いじめの早期発見に努めている。	11.8	48.3	4.3	1.2
18	学校は、いじめ防止に対して積極的に取り組んでいる。	10.1	43.9	5.5	1.2
19	学校は、子供の学力や成績を適切に評価している。	16.5	67.6	4.0	2.3
20	体育祭や合唱祭等、学校行事で生徒が積極的に取り組んでいる姿が見える。	54.9	40.8	1.2	0.6
21	学校は、勉強や運動しやすい環境が整っている。	26.6	61.6	3.5	0.9
22	学校は、登下校の服装について配慮している。	36.7	51.7	5.2	2.9
23	学校は、携行品（通学用かばんの荷物など）について、重さなどに配慮している。	12.7	43.4	20.5	10.4
24	学校は、PTA活動に協力的である。	20.2	53.5	1.4	0.3
25	学校は、感染症対策を適切に行っている。	19.9	53.6	10.2	5.1

【学校評議員・地域調査】

A：あてはまる B：だいたいあてはまる
C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	評価内容	評価 (%)			
		A	B	C	D
1	生徒は、進んであいさつをしていますか。	38	31	23	8
2	生徒は、社会のルールやマナーを守っていますか。	27	65	4	0
3	学校は、家庭や地域への情報提供を積極的に行っていますか。	35	50	11	0

【教育目標】

- ・いずれも肯定的な評価が全体の8割を超えており、重点目標達成に向けた効果的な取組ができた。引き続き重点目標の達成に向け、学校全体でより良い教育活動を行う。
- ・重点目標を今後も学校だよりやホームページ等を通して周知する。また、保護者会や地域の集まり等も活用する。

【組織運営】

- ・次年度は、教職員一人一人の適正を見極めたうえで、偏りのない分掌で、機能的に校務が行われるように調整する。そのために、管理職が教職員と積極的にコミュニケーションをとり、情報をしっかりと集める。
- ・教職員との面談等を通して、本音を引き出し、できる限り校務分掌について希望か叶うように調整する。

【学習指導・教育課程】

- ・徐々に学習活動の制限が緩和され、研究主題について、より深く取り組むことが可能になると考えている。今後、より一層のICT等を活用した個別最適な学びと話し合い活動等を活用した協働的な学びの研究を進めていく。また、基礎学力の定着が必要な生徒もいるので、「七林塾」以外でも課題の工夫等を行いながら定着方法を検討する。
- ・現状に満足せず、研究を重ねる。もっと地域人材を積極的に活用する。

【生徒指導】

- ・生徒指導主事中心として、組織的な対応が行われた。学校全体の共通理解を図ることが課題であり、特に学年間に温度差が生まれないように配慮したい。
- ・スクールカウンセラーとのより一層の連携や保護者周知が課題であるので、定期的な情報共有の場の設定や学校だより、保護者会等を活用して解決したい。
- ・生徒一人一人に寄り添った対応をしていく。

【保健・安全指導】

- ・昨年度と同様に、全項目ともおおむね良好であった。しかしながら、健康面や安全面に関しては常に注意を払うべき内容であるため、今後も生徒の意識を高めていくことを目指したい。特に安全については、学校安全計画の定期的な見直しを行い、必要に応じて更新する。また、施設修繕については、手の行き届いていないところもあるので、次年度の課題として対応する。
- ・登下校の仕方について、今までとは違う指導方法考え、実践する。
- ・スケアード・ストレイトを実施し、自転車の乗り方について改善させたい。
- ・新型コロナウイルス感染症が収まってきたので、総合防災訓練への積極的な参加を促す。

【研究・研修】

- ・各指導部や各教科部会とも研究主題の実現にむけて、積極的な取組が見られた。また、中堅教諭が中心となって、初若年層研修も行った。大変充実したものになったので、この姿勢を次年度も継続させたい。
- ・教科部会や授業研究、各研修を通して、教職員個々の更なるスキルアップを目指す。

【保護者・地域との連携】

- ・今年度は、各行事の実施方法などを検討しながら、できる限り行事を行ったことがよかった。この経験を今後もいかしたいと考えている。
- ・学校だよりやホームページ、メール配信など、引き続き広報活動は積極的に行う。また、1000か所ミニ集会のテーマについては、講師依頼も考えたうえで、できる限り要望をかなえたい。

【新型コロナウイルス感染症対策】

- ・学校として、できる限りのことは実施した。近隣校の学級閉鎖等の情報がほしいという要望があったので、今後検討していく。
- ・次年度の5月から新型コロナウイルス感染症が、感染症法の位置付けで「5類」に変更される。これまでの経験を有効活用しながら、新たな課題に対応していく。

ご協力ありがとうございました。